

長久手町地域公共交通会議

平成20年11月25日設置
平成21年7月7日連携計画策定



概要

本町では、これまで路線バス及び町巡回バス「Nーバス」を中心に住民の日常の移動を確保してきたが、平成17年に町内初の軌道型公共交通として「リニモ(東部丘陵線)」が開業したことから、町内に公共交通の基軸が形成され、本町を取り巻く公共交通体系は大きく変わった。今後は町内交通の軸としてリニモと路線バスを活かし、Nーバスで両者を面的にカバーしてだれもが使いやすいネットワークを構築し、利便性の高い公共交通を、住民・交通事業者・行政が協働で支えていくため、長久手町地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づく様々な事業を実施していく。

○地域公共交通の現況

長久手町の公共交通は、これまで実施した平成18年6月の「公共交通の利用に関する調査」や、平成20年3月の「Nーバス利用実態調査」では、公共交通の課題や改善を求める声は浮き彫りになり、利用者ニーズにあった公共交通体系の整備が課題となっている。

○地域公共交通の課題

- (1) 利用者ニーズにマッチしていないNーバスの路線網とサービス水準
- (2) リニモとの連携の不十分さ
- (3) 自動車依存型社会からの脱却

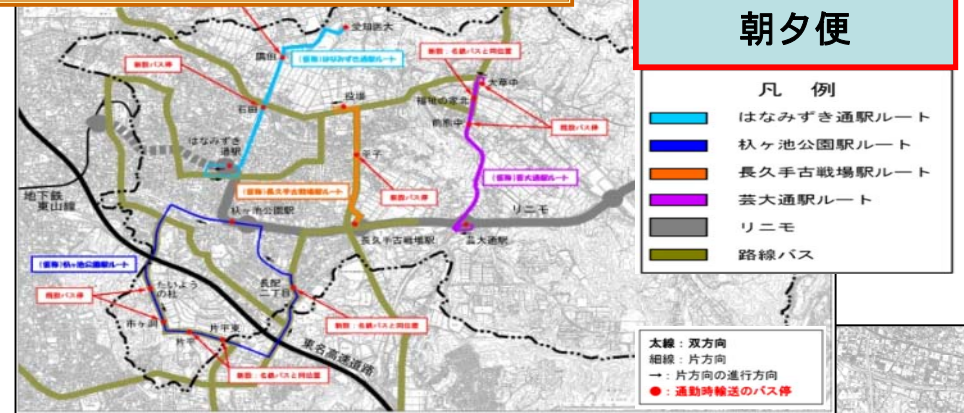
○調査の主な内容

- (1) Nーバスの実証運行
- (2) 周知広報活動の強化(Nーバス利用促進チラシ・時刻表・マップの作成)
- (3) 名鉄バスICカードの導入
- (4) 公共交通実態調査(アンケート・OD調査)

○地域公共交通総合連携計画の策定

平成21年7月7日策定

Nーバス新設路線の実証運行



昼間便

凡例		
路線	延長	時間
中央循環線	10.2km	38分
福祉の家線	2.9km	10分
西部線	7.0km	27分
南部線	7.4km	28分
藤が丘線	8.2km	32分
東部線	9.7km	33分
三ヶ峯線	13.4km	43分

※1: 延長と時間は、起点を出発して戻るまでの往復分
 ※2: 中央循環線の延長と時間は、片方向周回分
 ※3: □印のバス停は、乗り継ぎポイント

